

令和6年2月19日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

- 【施策情報】
- ☆環境負荷低減のクロスコンプライアンスの推進をお願いします！
 - ☆「第1回みどり技術ネットワーク全国会議」を開催します！
 - ☆〈みどり戦略技術紹介〉高窒素鶏糞を活用した水稻の減化学肥料栽培
 - ☆〈公募のご案内〉スマート農業実証プロジェクトの支援チームがスマート技術の導入を支援します
 - ☆シンポジウム『中山間地域における持続的な地域づくりー鳥取県日野町リノベーション Lab での研究の今とその先へー』の開催について

++・…… 施策情報 ……・++
=====

◆環境負荷低減のクロスコンプライアンスの推進をお願いします！
【大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ】
=====

令和9年度の本格実施に向け、令和6年度から農林水産省の各種補助事業等で「環境負荷低減のクロスコンプライアンス」の試行実施が始まります。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスとは、持続可能な食料システムの構築に向けて、農林漁業者、民間事業者、自治体など、農林水産省の予算事業を活用する全ての方に、環境にやさしい農林漁業のための最低限の取組を事業要件とするもので、令和6年度は事業申請時にチェックシート等で自己点検を行い、提出していただきます。取組内容については、事業毎に異なりますが、決して難しいものではなく、日頃の営農の中で意識すれば取り組めるような、環境負荷低減のための最低限の取組となっています。

普及指導員の皆様におかれましては、クロスコンプライアンスの推進へのご協力をお願いします。

- ▼詳細はこちら
- 環境負荷低減のクロスコンプライアンス（農林水産省HP）
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/kurokon.html>
 - みどりの食料システム戦略（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ

(担当：表谷、白石) (03-6744-1865)

=====

◆「第1回みどり技術ネットワーク全国会議」を開催します！

【大臣官房 政策課 技術政策室】

=====

農林水産省は、令和6年3月12日(火)に、「みどりの食料システム戦略技術カタログ」掲載技術の社会実装をテーマとした、「第1回みどり技術ネットワーク全国会議」(会場とオンライン併用)を開催します。本イベントでは、「局所施肥機を用いた化学肥料の低減」や「高能率水田用除草機」などをはじめとした、みどりカタログ掲載技術の導入の効果や今後の課題などを紹介します。加えて、みどり技術の活用状況や今後の普及の進め方を検討するパネルディスカッションも実施します。

本イベントは、どなたでも参加いただけます。

普及指導員の皆様におかれましては、本イベントへの参加、並びに関係者への周知にご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○第1回みどり技術ネットワーク全国会議のプログラム

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/network_program.pdf

○「会場参加」申込フォーム

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo03/midori_network_onsite.html

○「オンライン参加」申込フォーム

<https://events.teams.microsoft.com/event/04554e0f-22b1-4333-bc21-1d08a41alefd@06e4a0ff-4972-4a8b-af30-4571361d1344>

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html#network>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室 (担当：小花和、田中)

(03-6744-0408)

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉高窒素鶏糞を活用した水稻の減化学肥料栽培

【大臣官房 政策課 技術政策室】

=====

本技術紹介では、みどりの食料システム戦略に貢献する技術を、「みどりの食料システム戦略」技術カタログから毎月一回ご紹介します。

今回ご紹介するのは、新潟県で開発された、高窒素鶏糞を活用した水稻の減化学肥料栽培です。

基肥に高窒素鶏糞を、穂肥に硫酸を使用して水稻を栽培する施肥体系であり、

慣行栽培（高度化成＋硫安）の穂肥技術をそのまま利用することができるため、低コストで簡易に減化学肥料栽培に取り組めます。生育は慣行栽培と比べてやや遅れますが、穂肥の化学肥料で生育調整が図られ、登熟期の生育は慣行栽培と同等であり、収量・品質・コストともに差はありません。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：水稻) P. 2

高窒素鶏糞を活用した水稻の減化学肥料栽培

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/midori_catalog_rice.pdf#page=2

○「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室（担当：小花和、田中）

（０３－６７４４－０４０８）

=====

◆〈公募のご案内〉スマート農業実証プロジェクトの支援チームがスマート技術の導入を支援します

【農林水産技術会議事務局 研究推進課】

=====

「スマート農業技術活用産地支援事業」の公募を３月８日（金）正午まで行っています。

この事業では、「スマート農業実証プロジェクト」でスマート農業技術導入のノウハウを培った支援チームが、スマート農業技術導入を希望する産地に対して実地指導を行う取組を支援します。

支援を希望する産地とエントリーの意思のある事業者とのマッチングを促進するため、「本事業の参画に意欲のある支援チームのリスト」を公開していますのでご参考ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本事業の活用をご検討いただくとともに、産地への周知等ご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○スマート農業技術活用産地支援事業の概要

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/index.html>

○令和６年度「スマート農業技術活用産地支援事業」の公募について

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/161441.html

○支援チームリスト

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/files/smart-nougyou-project_koubo2024_katsuyou-sanchi_sumasapo_risuto.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課

(担当：福島、清水、稲田) (03-3502-7438)

◆シンポジウム『中山間地域における持続的な地域づくりー鳥取県日野町リノベーション Lab での研究の今とその先へー』の開催について
【農林水産政策研究所】

農林水産政策研究所は、人口減少や高齢化に対応した持続可能な地域の創造を図るため、相互に連携・協力して中山間地域が抱える諸課題の解決に資する調査研究を実施することとし、鳥取県日野町「日野町リノベーション Lab」に参画しています。本シンポジウムでは、中山間地域における持続的な地域づくりの観点など、多角的な視点から当町の取組や参画する研究機関等の成果について報告します。また、これらの内容を踏まえて、今後の取組や関係機関との連携について、パネルディスカッションを会場とオンライン配信の併用で行います。

普及指導員の皆様におかれましては、ご参加をよろしくお願いいたします。

日時：令和6年2月29日（木）（開催時間：13:00～15:30）

会場：鳥取県日野町リノベーション Lab（旧黒坂小学校）

オンライン配信（ZOOM）

▼詳細（事前登録）はこちら

○日野町リノベーション Lab

(<https://hino-relab.info/?p=888>)

○農林水産政策研究所 Web サイト

(<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2023/20240229.html>)

※お問い合わせ先

農林水産政策研究所（担当：丸山、玉木）

(03-6367-9012)

編集後記

関東以南は梅の花も開花し、外を歩いているとほのかに甘い香りが漂い、春の訪れを感じる。梅の花は、和歌に詠われた数でいえば、桜には及びもつかないが、古来より和歌に詠まれており、香りを絡めたものが多いことを思い出す（注：香りによって記憶等が蘇る事を『プルースト効果』と呼ぶとのこと）。また、花屋の店先には、チューリップ、菜の花、スイートピーなど春の花々が並び、目でも楽しませてくれる。

知り合いの花屋さんによると、ラナンキュラスを花言葉の「合格」にかけて、1月に店頭に出たところ大ヒットしたらしい。神社で合格祈願するように、縁起を担ぎたい受験生や親の気持ちに同感するが、そんな売り方もあるのかと苦笑してしまった。

いずれにしても、これからの季節は、桜、つつじ、藤（フジ）など、各地域の花の名所では、花見のシーズンを迎える。花より団子派も多いと思うが、一期一

会の今年の春、せっかくなので、草団子でも食べながら、花見も楽しみたい。

◎編集担当 T ◎

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。